

先輩教員のお話（「豊能地区の教育DVD」より）

豊能町立吉川中学校 教諭 小笠原 昭子

豊能町東ときわ台にある吉川中学校で保健・体育を担当する小笠原 昭

子さんは高校時代、補習授業を手伝ったことで教える喜びを感じ、教員をめざしたと話します。

教員をめざしたきっかけ

「高校の時に体育の先生が妊婦さんだったんですけど、その先生の代わりに水泳の補習の手伝いとか、教えたりとかいろいろしてた時に、教える喜びとか、教えた子たちが「ほんまにありがとう」とか「泳げるようになってむっちゃうれしいわ」とか言ってくれたんで、その喜びをすごく感じたので、先生って職業もいいなというのはすごく思ったので、先生になりました。」

教員をしていて感じること

「すごく自分もパワーを使うけども、すごい生徒からもパワーをもらえる職業だなと思うので、大変だけどすごくやりがいがあるなと感じています。」